

# NO! リニア

No. 33

2010年11月10日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

## 長野県飯田市で150名が参加！ 「飯田・リニア新幹線学習会」開催！

11月7日、長野県飯田市で市民団体「飯田・リニアを考える会」が主催する「飯田・リニア新幹線学習会」が開催されました。地域住民など約150名が参加し、JR東海からも17名の仲間が参加しました。

学習会は2部制で行われ、第1部は3名の講師から講演があり、橋山禮治郎・千葉商科大客員教授は「リニアは経済、技術、環境のどの面からも問題が大きい」「JR東海は東京～名古屋の建設費を5.1兆円としているが根拠が不十分」と講演し、荻野晃也・電磁波環境研究所所長 元京大工学部講師からは「電磁波について、JR東海は世界保健機関（WHO）の基準を下回り問題ないとしているが、JR東海は一部のデータしか明らかにしていない」「現在の新幹線より電磁波が大きいのは明らかだ」「日本の電磁波規制値は緩い、危険の可能性があるならば厳しくするべきだ」と電磁波の危険性を訴えました。

また、リニア・市民ネット代表の川村晃生・慶応大学教授からは、過去の新幹線停車駅などを例に挙げ「文明の発展で人類が幸福になれるのであろうか？」「リニアで大都市が結ばれることで地域が発展することは幻想である」と講演しました。

2部では参加者からの疑問に講師が答える形で進められ、リニア建設に対して「賛成」「反対」などの立場から議論を行いました。

最後に「飯田・リニアを考える会」の片桐晴夫代表から「これまで飯田市に討論会を開催すべきと要請してきたが実現しなかった」「リニアについての学習会を今後も継続していく」と決意が述べられ閉会しました。



講演していただいた講師の皆さん



約150名の参加者で熱気あふれる会場